

「実はマイルをつかった寄附のご要望は自治体やお客さまからいただいたっており、2024年度以降の課題となっていました。すぐに実現できなかったのは、マイルをつかって寄附する仕組みの検討に時間を要していたからです。それでも1日も早くお客さまにマイルをつかって寄附ができるサービスをお届けしたいとさまざまな方法と比較し、各部門のプロフェッショナルが知恵を出し合った結果、『JAL Mail』で利用しているJALお買いものポイントを活用することで、最小限のシステム開発や契約の見直しでサービスを実装できるとわかり、ふるさと納税の繁忙期前にスタートできました」と笑顔を見せる渡瀬。

特に思い入れのある納税先として、『高校生による徳之島の魅力発信プロジェクト』というJALふるさとクラウドファンディングのプロジェクトを挙げます。



マイルをつかって ふるさと納税

「これはJALグループが数年前から取り組んでいる、徳之島の高校生とのプロジェクトです。豊かな自然が、当たり前」に身近にある高校生たちは、その素晴らしいに気付かないまま、島外に就職してしまうことがほとんどです。けれど我々と一緒に、自分たちの周りの身近な食材を使って特産品を企画する、という1年間の授業を通じて、島の魅力や可能性に気づき、将来は地域に根ざす人財となってくれることを期待しています」さらに、「地域課題の解決や社

R REPORT

JALが取り組む新しい空への挑戦を皆さまにお伝えします

Embrace your
Challenge **JAL**

マイルをJALお買いものポイントに交換して寄附ができる JALふるさと納税



地域を応援 ふるさと納税

2023年の「ふるさと納税」はもうお済みですか？生まれ育った場所や縁ある自治体に寄附し、地域の発展を応援できる「ふるさと納税」制度。寄附金額に応じて税金の還付や控除が受けられる他、寄附プログラムによっては「返礼品」と呼ばれる特産品などをいただけることもあり、年々利用者や寄附額が増えています。

そんなふるさと納税を手軽に始められるのが『JALふるさと納税』Webサイト。オリジナルの返礼品も充実し、また寄附によってJALのマイルもたまると好評をいただいています。

さらに今年11月から、マイルをつかって寄附ができるサービスも始まりました。

1000マイルを『JALお買いものポイント』1000ポイントと交換でき、1ポイント1円としてJALふるさと納税での寄附に利用できます。

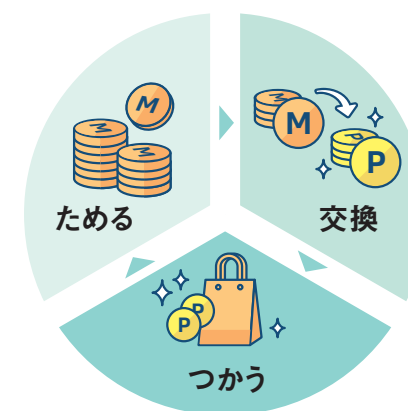
「JALふるさと納税サイトはマイルがたまらなくてなく、マイルをつかえるサイトになりました。」

会貢献など、一個人では取り組みづらい分野に対して、マイルをつかうことで参加していただきやすい環境を整えました。まずは一度、JALふるさと納税サイトにお越しただけたら嬉しいです。今後はマイルをつかって寄附ができる自治体をも増やし、お客さまの利便性を向上させていきたいです」と張り切る渡瀬。

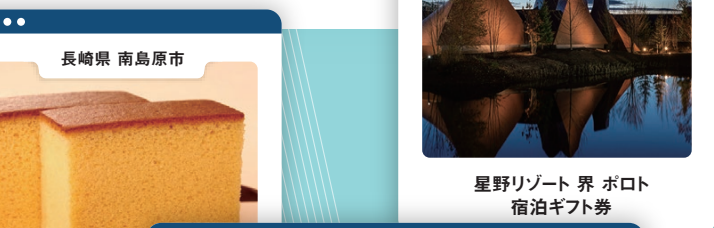
JALグループはこれからも、お客さまに最高のサービスをお届けしながら、地域の活性化にチャレンジしてまいります。

JALお買いものポイントとは？

JAL Mall、JALふるさと納税でご利用いただけるポイントプログラムです。たったマイルを1,000マイルからJALお買いものポイントに交換して、決済時にご利用いただけます。



旅行・出張・お買い物・月々の電気代などためていたマイルを、JALふるさと納税を通じて地域の発展や課題解決に役立てていただければと思っています」と語るのは、JALUX地域事業推進課で、ふるさと納税のシステム開発を担当する渡瀬富美です。



高校生による 徳之島の魅力発信プロジェクト

徳之島の美しい自然に囲まれて育った高校生たち。島の魅力が伝わる特産品を開発するプロジェクトでは、今年は「よもぎもち」がテーマに。

このプロジェクトを応援する



JAL特製
オリジナルビーフカレー

マイルをつかって寄附できる
『JALふるさと納税』はこちら



<https://furusato.jal.co.jp/>